

## 作業後の 後片付け

除染作業終了後の後片付けなどは以下のとおりです。

### 作業終了時の措置について

- 使用した手袋やマスクは汚染された面に触れないよう、右の写真のようにして外します。
- 顔などの露出部は入念に洗うとともに、内部被ばくを防止するためにうがいを行います。
- 作業班長の線量計を確認することで各ボランティア作業に伴う被ばく線量を把握し、ボランティア参加日、参加場所、主催者名、グループ・作業班の名称、被ばく線量を記録してください。
- シャワー、お風呂で汗と汚れを流します。



### 使用した用具や衣類

- 手袋やマスク、タワシ、雑巾など使い捨てのものは主催者の指示に従って捨ててください。
- そのほかの用具類は、使用後よく洗います。
- 作業に使用した衣服などは通常の洗濯を行ってください。

## ⚠ 除染ボランティアへの参加時間にご注意ください！

日常生活の中で自然界などから受ける放射線に加えて被ばくする放射線の量(追加被ばく線量)が年間1ミリシーベルトを超えないようにすることとされています(ICRP<国際放射線防護委員会>による)※。

除染ボランティアにご参加いただく皆さまは、ボランティア作業時以外の被ばく線量も考慮し、「追加被ばく線量」が年間1ミリシーベルト以内となるよう留意してください。

※除染等業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン(<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001yy2z.html>)より

#### 〈追加被ばく線量の計算方法〉

〈年間の追加被ばく線量の限度 1ミリシーベルト(mSv)=1,000マイクロシーベルト(μSv)〉

|     |                         |                                                              |
|-----|-------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 計算例 | 1時間当たりの空間線量が2マイクロシーベルト、 | $2(\mu\text{Sv}) \times 8(\text{時間}) = 16(\mu\text{Sv})$     |
|     | 1日の作業時間が8時間の場合          |                                                              |
|     | 同じ作業に30日(回)参加した場合       | $16(\mu\text{Sv}) \times 30(\text{日・回}) = 480(\mu\text{Sv})$ |

除染ボランティア参加時の  
実際の被ばく線量の例

空間線量が約3μSv/時間の民家で表土剥ぎ等を6時間行った場合：約11μSv/日  
空間線量が約1~2μSv/時間の民家で客土等を5時間行った場合：約3μSv/日  
(あくまで一例であり、実際の被ばく線量は各活動ごとに異なります)

除染ボランティアに関するお問い合わせ

福島県 環境省

## 除染情報プラザ

福島県福島市栄町 1-31 1F (福島駅から徒歩約5分)

TEL:024-529-5668

オープン時間/10:00~16:00(月曜は休館日[祝日の場合は翌日休])

※専用駐車場はございません。お車で越しの際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

除染情報プラザホームページ <http://www.env.go.jp/jishin/josen-plaza.html>



平成24年3月 第1版発行

R70  
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

VEGETABLE  
OIL INK

# 除染ボランティアに 参加される皆さまへ

このパンフレットでは、

除染作業にご参加いただく際の注意事項を

出発前・作業前・作業中・作業後に分けてまとめているので、

事前に必ずお読みください。

また、除染ボランティアの実際の作業内容は、

各活動ごとに異なるため

詳細は主催者からの指示に従ってください。



# 安全に除染を行うために。放射性物質の拡散を防ぐために。

## 出発前の準備

出発前に準備すべき服装や持ち物は以下のとおりです。主催者が準備している場合もありますので、主催者からの連絡事項もご確認ください。

### 除染作業に適した服装について

作業に当たっては、肌<sup>が</sup>露出せず、動きやすく通気性のよい服装で臨んでください。また、作業中はかなり汗をかくことや、汚れた衣類による放射性物質の拡散を防ぐため、**作業後の着替えを必ずご用意ください。**

### 持ち物について

●ジャケット、コートまたはウインドブレーカー ●長袖、長ズボン(汚れてもよい活動着と宿泊場所での部屋着)  
●肌着、下着 ●レインウェア ●ゴム長靴(名前を明記してください) ●作業後の靴 ●作業後の着替え  
●帽子 ●軍手 ●ゴム手袋 ●使い捨て防じんマスク(捕集効率80%以上)またはサージカルマスク  
●ゴーグルまたはメガネ ●作業後の汚れ物を収納するビニール袋数枚 ●タオル、ウェットティッシュ、ティッシュペーパー、消毒液(手指の消毒用アルコールジェルなど) ●健康保険証のコピー ●絆創膏、塗り薬、虫除けの予防薬 など  
※これらのほかにも、ご自身で必要と判断されるものについては適宜ご持参ください。

作業場所の近くに飲食店やコンビニエンスストアなどがない場合があるので、**集合する前に食事や飲料水をご用意ください。**

## 作業前の確認

除染作業時の服装は以下のとおりです。  
**タイベックスーツなどの防護服は原則として必要ありません。**

### 装備の着用について

#### ◆防じんマスクの正しい着用方法

短いひもが首の後ろに、長いひもがつむじにくるよう正しく着用する。



#### ◆正しい服装

##### 基本装備例

動きやすく通気性のよいものを、肌の露出がないように着用。



##### 水を扱う作業時の装備例

基本装備に加え、体が水に濡れないように防水性のある装備を着用。



### 作業場所の放射線量の確認

作業班長の線量計を確認し、**作業前にできる限り作業をする場所の放射線量(空間線量率)を確認して、記録しておきましょう。**作業場所では除染の目標や効果を空間線量率や被ばく線量で表現することがあります。その場合は、右の早見表を参考にしてください。

#### ◆1年間の累積被ばく線量早見表

| 1時間当たりの空間線量率       | 1年間の累積被ばく線量   |
|--------------------|---------------|
| 0.23(マイクロシーベルト/時間) | 1(ミリシーベルト/年)  |
| 0.99(マイクロシーベルト/時間) | 5(ミリシーベルト/年)  |
| 1.9(マイクロシーベルト/時間)  | 10(ミリシーベルト/年) |
| 3.8(マイクロシーベルト/時間)  | 20(ミリシーベルト/年) |

(マイクロシーベルト/時間)×5≒(ミリシーベルト/年)

### ボランティア保険のご検討を！

ボランティア活動中の事故によるケガや損害賠償責任を補償する保険があります。ボランティア保険のご加入・ご更新は、補償範囲(放射線被ばくはボランティア保険の対象外)や保険費用を踏まえた上でご検討ください(自己負担となります)。

## 作業中の注意

作業内容と作業時・休憩時の注意事項は以下のとおりです。

### 主な作業内容

除染ボランティアの皆さまにお願いする作業は下記のようなものが想定されます。

- 地面の表土剥ぎ、芝生の剥ぎ取り、草刈り、苔・落ち葉・腐葉土の除去(湿潤な状態で作業すること)
- 雨樋や側溝の清掃・洗浄
- 建物の壁などの拭き掃除
- 土や枝葉をごみ袋などに入れる
- ごみ袋・土嚢を現場保管場所まで搬送
- 汚染されていない土・砂利を敷く など



庭などの除染の例  
(落ち葉などの除去)  
提供：伊達市



道路脇や側溝の除染の例  
(汚泥の除去、タイル目地や側溝隙間のブラシ掛け) 提供：福島市

### 作業時の注意

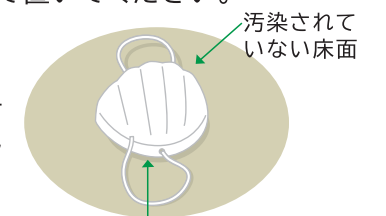
- 防じんマスク・手袋は外さないでください。
- 汚染した手袋で顔や身体に触れないようにしてください。
- 直接地面に座らないようにしてください。
- 汚染の拡大を防ぐため、土や枝葉は速やかにごみ袋などに入れてください。
- 洗浄の際は、放射性物質が付着した土砂などが周囲に飛び散らないよう、周りをビニールシートで囲むなど注意して作業を行ってください。
- 内部被ばくのリスクを避けるため、作業中の飲食はご遠慮いただきます。ただし、熱中症にも十分に留意し、水分補給が必要な場合には、下記の『休憩時の注意』を参照して休憩をとるように心がけてください。
- ※ケガをした場合は、傷口から放射性物質が入るおそれもあるため、直ちに作業を中止し、作業班長に連絡の上、休憩場所などで救急処置を行ってください。

### 休憩時の注意

- 飲食・喫煙は、主催者から指定された場所で行ってください。
- 飲食・喫煙を行う前に、手袋、防じんマスクを外した上で、うがい・手洗いなどを行ってください。

### マスクの取扱いについて

- マスクを外す際には、汚染されていない床面に、マスクの内側を下に向けて置いてください。
- マスクの外側・内側はできるだけ手で触れないようにし、扱う際はひもの部分をつまむようにしてください。
- 使用限度時間に達した場合や使用限度内であっても作業に支障をきたすような息苦しさを感じたり、著しい型くずれを生じたりした場合にはマスクを交換してください。
- 終日使用したマスクを次の日に使い回さないでください。



マスクの内側を下に向けて置く

実際の作業に当たっては、以下の動画が参考になりますのでご覧ください。

<厚生労働省による除染等業務特別教育の実技科目に関する動画> <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000022sa3.html>